

所 報

◆出版案内

1. 調査研究双書

第185集『アジア開発のメカニズム——理論編——』

第186集『アジア開発のメカニズム——財政金融編——』

2. 研究参考資料

第151集『アジア諸国の会社法』

第153集『アジア諸国の統計制度』

第155集『発展途上国における最適援助必要額の推計——インドの事例——』

第156集『ラテン・アメリカの鉄鋼業』

アジアを見る眼シリーズ(B6変型判・並装ビニールカバー付)

低 開 発 国 開 発 理 論 の 系 譜

坂 本 二 郎 著

190頁/¥350

躍動する低開発国諸国が、政治的、経済的発言の場で第三勢力としての地歩を着々と築き上げてきた今日、これら諸国の現状分析と状況の把握の理論的ベースは、いわゆる「南北問題」へと変転した。しかし著者は、このような情勢を踏まえたうえで、あえて原点に立ち返り、ハーシュマン、ミルダール、ヌルクセ、ロスター、ティンバーゲン以下内外の80人に及ぶ経済学者の文献を取り上げ、戦後の低開発国開発理論の再検討をし、理論的究明を試みる。

本書は、「南北問題」をより鮮明に浮き彫りにする意味でも、重要な布石となる好著である。

ガ ー ナ 経 済 の 歩 み

細 見 真 也 著

190頁/¥300

奴隸海岸にそそり立つ古い大きな城塞には、奴隸商人が奴隸を品定めた小さなのぞき窓のある広い部屋や、船積みのために奴隸たちが投げ込まれた古井戸がある。ここで流された大量の血と数知れぬ奴隸たちの呻吟は、彼らの犠牲の上に築かれた今日のヨーロッパ、アメリカの繁栄と黒々としたその歴史への告発である。筆者は現地を赴いてこれら阿鼻叫喚の傷痕を実見しその衝撃と痛憤の矛先をむしろ冷静に経済的側面からの「暗黒大陸」解明に向けられる。本書は、躍動する今日のアフリカに散在するさまざまな問題を解明する意味でも基礎的資料となる。

アジア経済研究所刊行

アジア経済出版会発売